

(報告事項)

2026 年度事業計画書

自 2026 年 4 月 1 日

至 2027 年 3 月 31 日

1. はじめに

戦後最大の転換期、そして神戸・兵庫も大きな時代の転換点に立っている

新自由主義の潮流で、グローバル化や規制緩和、民営化が進む一方、格差や環境問題が問題になる中、全世界がコロナ禍のパンデミックに見舞われた。既存の社会・経済システムが問われ、デジタル化が一気に加速し、リアルな交流が希薄になりつつある。

・世界的にはロシアのウクライナ侵攻、イスラエル・ハマスのガザの戦闘で、エネルギー価格が高騰し、国内では物価高、人手不足が深刻化した。加えて、アメリカによるイラン攻撃により、不透明感が増している。気候変動による豪雨・台風の激甚化や地震の多発など、災害リスクも高まっている。

・戦後 80 年を越え、人口減と高齢化が進み、生産人口は減少の一途で、一極集中と過疎化が進む中、先行きが見通しづらくなっている。

・X や動画投稿サイトなど SNS の氾濫で情報環境が変貌し、国内外で分断や対立が激しさを増している。

2. 関西、神戸・兵庫では

大阪・関西万博やノーベル賞で相次いだ地元受賞、阪神タイガースの優勝、地元出身の女性総理の誕生など、関西が大いに脚光を浴びた 2025 年であった。

万博のソフト・レガシーは「KANSAI」が注目を集めたこと。この効果を弾みにして、観光をはじめ、医療など各産業分野でのさらなるアピールへ、2026 年は 2025 年以上に知恵と工夫、行動力が問われる年となる。

神戸・兵庫では、阪神・淡路大震災から 30 年の節目を越え、関西財界セミナーも神戸で開催され、防災・減災をテーマにセッションも行われた。そして同時に、街が大きく動く時代

を迎えた。

万博と時を合わせるように、神戸空港の国際化がスタートし、ウォーターフロントではジーライオンアリーナ神戸をはじめ、新たな施設が姿を現している。JR三ノ宮駅の駅ビルや、西日本最大級のバスターミナルを擁するツインタワーの建設も急ピッチで、市役所 2 号館の建て替えでは外資系五つ星のラグジュアリーホテル（コンラッド）入居が調整されている。

2030 年に向け、街の再整備が整い、神戸空港が本格的な国際空港へ踏み出す中、新たな国際都市のステージへ進む転換期となる。

3. 2026 年度の神戸経済同友会

神戸経済同友会は節目の年を迎えた。全国 3 番目の経済同友会として、昭和 21 年、1946 年に発足して、本年 10 月で創立 80 周年となる。

まだ戦争の傷跡が残る中での発足で、東京の経済同友会に続き、大阪で関西支部ができ、神戸はその神戸事務所としてスタートした。翌年、関西経済同友会とともに、神戸経済同友会に改称された。

以来、戦後復興、高度成長、バブル崩壊、そして阪神・淡路大震災、震災復興と、時々の時代に向き合い、「考える同友会」「勉強する同友会」そして「行動する同友会」として、切磋琢磨し、提言を続けてきた歴史がある。

震災から 30 年を越え、ポスト万博を見据え、神戸・兵庫が次のステージへ進む今こそ、同友会の存在意義が問われる時となる。

4. 運営方針

会員の進取の精神や地域貢献への情熱を力に、取り組みをさらに推し進める。具体的には以下のとおり。

そろって

①常設委員会活動は、これまでの自主的で精力的な活動を支援し、時流の中での課題解決に向けチャレンジする。

②全委員会が会し活動状況を発表する「神戸経済同友会フォーラム」は、より実質的かつ効率的な運営を目指す。

③交流委員会は「80周年記念事業推進委員会」を引き続き兼務し、計画策定と準備を担う。

④特別委員会の「神戸空港国際化推進特別委員会」は、2024年度提言「国際化の経済効果の最大化」を実装するため、2030年に向けた取り組みを強化する。

⑤提言特別委員会は、陣容を広く整え、常設委員会や地域部会と意見交換を重ね、連係して提言活動を行う。

⑥五つの地域部会は、各地域の課題解決に取り組むとともに、2025年度提言「人口減に官民で備える場づくり、人づくり」の実装への道筋を探る。

⑦中堅会員部会の経営塾「ザ・ルーム」などの成果に着目し、同友会全体の活性化につなげる。

⑧近隣の経済同友会などとの交流は、2024年度、2025年度の実績を引き継ぎ、連係を強め、神戸空港国際化推進へもつなげる。

⑨創立80周年記念事業に取り組む傍ら、財務の適正管理にも留意し、メリハリの利いた運営を目指す。

5. 創立80周年記念事業

神戸経済同友会 創立80周年記念式典・記念パーティー

日時 2026年11月10日(火) 13時～

会場 神戸ポートピアホテル「大和田の間」

内容 記念式典、記念パーティー（アトラクションあり）を計画

・特別講演

日本経済団体連合会 名誉会長、住友化学（株）相談役 十倉雅和 氏

・詳細は「80周年記念事業推進委員会」（委員長：渡辺真二 早駒運輸社長）で検討中

6. 提言へのアプローチ

(1)提言の方向性

神戸経済同友会の創立80年の節目にあたり、神戸・兵庫の強みや良さを今一度見つめ直し、その伝統を生かし、磨き直し、次の時代へ発展させる—という基本方針で、ものづくりの幅広い集積や、レトロとモダンが交じり合った文化の魅力や施設などに着目し、それ

らの潜在力をどう再整備し、関係させ、アピールできるかを探る。

(2) 提言の体制および活動

提言特別委員会は、川松英明委員長（住友ゴム工業(株)取締役常務執行役員）、米田篤史筆頭副委員長（(株)ジェム代表取締役）、道満龍彦副委員長（オリバーソース(株)代表取締役社長）はじめ、9人の委員で構成。そのほか支援役のワーキンググループ、オブザーバー、アドバイザーが支える。

常設委員会や地域部会と連携するとともに、兵庫県の県民局・県民センター、神戸市とも意見交換し、その実情を提言に反映する。

(3) 提言のテーマ

兵庫・神戸の強みを磨き直す／創立 80 周年・伝統生かし革新の新時代へ

この「強み」の源泉に、①分厚いものづくり基盤②文化の蓄積—がある。この両輪が③兵庫県内に本社や工場を置きたい、置き続けたい、住みたいという動きにつながる。この三つが好循環することによって都市の魅力がいつそう輝く。

他府県に比べてどこに優位度があるのか、それが落ちてはいないか。節目として 20 年後、同友会 100 周年時点の「イメージ・あり姿」を 2026 年提言で言及したい。地域経済、都市の文化がいつそう輝き、企業進出や人流を呼び込むブランディング戦略を描く。そのために何が足りず、何を強化すればよいのか。先進地や行政、企業の調査、インタビューを行い、兵庫県や神戸市などに刺さる、地に足のついた提言にしたい。

7. 他経済同友会との連携イベント（予定）

- (1) 6 経済同友会代表幹事懇談会（2026 年 4 月 9 日）
- (2) 第 38 回 全国経済同友会セミナー 高知大会（2026 年 4 月 16 日・17 日）
- (3) 日本海沿岸地域経済同友会サミット 富山大会（2026 年 7 月 8 日）
- (4) 西日本経済同友会代表者会議 大阪大会（2026 年 7 月）
- (5) 鳥取県経済同友会創立 60 周年記念行事（2026 年 6 月 17 日）
- (6) 関西経済同友会創立 80 周年記念行事（2026 年 10 月 8 日）
- (7) 経済同友会創立 80 周年記念行事（2026 年 11 月 27 日）
- (8) 第 123 回 西日本経済同友会会員合同懇談会 奈良大会（2026 年 10 月 16 日・17 日）
- (9) 全国経済同友会代表幹事円卓会議（2026 年 11 月 27 日）
- (10) 第 64 回 関西財界セミナー（2027 年 2 月 9 日・10 日）
- (11) 岡山経済同友会との合同懇談会（2026 年 12 月 22 日）

8. 活動組織要綱

一般社団法人の理事会設置法人として「2026 年度活動方針」に基づき、次の活動組織を編成し、会務の計画・運営ならびに調査研究活動の推進を図る。

< 会務の執行組織 >

(1) 理事会

一般社団法人定款に定められた会務の審議、決定にあたる。

(2) 常任幹事会

理事会に先立って主要事項を審議、協議し、参考意見として理事会に提出する。
原則、毎月第 2 金曜日に開催する。（8 月は休会）

(3) 幹事会

常任幹事会から諮問された事項について審議、協議し、参考意見として常任幹事会に提出する。原則、常任幹事会に合わせて、「常任幹事会・幹事会」として開催する。

< 調査研究組織及び活動 >

（常設委員会）

会員による自由な討議と調査研究を行い、各自の識見向上を図り、企業経営の指針を

提供する。政策の実現及び地域活性化のため、関係者や他団体等との連携及び協力を行う。

(1) 総務委員会

- ① 同友会活動の全体把握およびテーマの選定
- ② 広域連携活動等の企画運営
- ③ 活動の発信
- ④ 会員増強活動の推進
- ⑤ 同友会活動のあり方の検討および魅力づくり

(2) 経済動向委員会

「経済のグローバル・シームレス化」と「国家間の相互依存」が平和と繁栄をもたらすことを前提に築かれてきた国際秩序は今大きく揺らいでいる。

地政学と経済安全保障が結びつく「地経学」の競合が強まり、保護主義の進展や供給網の再編、技術覇権をめぐる摩擦が企業活動の前提を変えつつある。

世界経済はインフレ鈍化等の下支え要因がある一方で地政学的緊張の再燃等、下振れリスクを抱える。

日本では人口減少・高齢化が中長期の制約となり、国際的プレゼンスは相対的に縮小する。他方で賃金、金利・為替、政策転換等の企業経営に直結する変数の振れは大きい。こうした環境下でも成長への挑戦は不可欠であり、変化を前提とした洞察と意思決定の質が持続的成長を左右する。

当委員会は会員の自己研鑽に資するため、国内外の経済動向を多面的に捉える講演会等の学びの場を提供する。さらには兵庫県の産業、人材、技術、文化等と経済動向を接続する新たな取り組みを模索する。

(3) しごとづくり委員会

日本は未曾有の人口減少時代に突入しており、兵庫県の人口も 2025 年の 530 万人から 2050 年には 423 万人になると予想され、かつ高齢化が急速に進んでいる。

これまで兵庫県・神戸市の産業を支えていた労働人口の急減は避けられない。また年金や医療費の増加、水道や道路などのインフラの老朽化などにより、財政負担が増し、自治体にも財政的な余力がなくなっている。すなわち地域そのものの持続可能性が問われている。

このような環境の中、しごとづくり委員会では、以下の視点から、視察も交えながら議論していきたいと考える。

- ① 兵庫県・神戸市の産業構造は持続可能か。持続させるためには何が必要か。
- ② これからの兵庫県・神戸市に必要な産業（誘致すべき産業）は何なのか。

③ 兵庫県・神戸市には、どのような産業政策が必要か。

(4) まちづくり委員会

2030 年を見据え、兵庫・神戸の持続的発展に資する調査・研究を行う。兵庫県の既存施策や三宮・ウォーターフロント再開発等の動向を捉え、兵庫の強みを再認識するとともに、再開発による地域経済への影響等を考察する。あわせて、「安心・安全なまちづくりや、スポーツによる地域創生について、ハード・ソフト両面から調査し、「訪れたい」「働きたい」「住みたい」と選ばれ関係・交流人口拡大につながる「まち」への示唆を得ることで、会員各社の事業活動や社会貢献検討に資するものとする。

(5) ひとつづくり委員会

様々な多様性を尊重し、互いの良さを生かし、多様な会員と切磋琢磨し、多方面との交流を深め、掛け算による新たな価値の創造と、地域課題の解決に寄与し、兵庫経済の活性化に繋げていく。

① 外国人の活躍推進

留学生も含めた外国人と会員の交流で課題の抽出と兵庫愛の醸成

② 女性の活躍推進

就業支援も含めた、すべての働く女性の場の環境整備の推進と結婚・出産・子育ての希望をかなえる

③ みらいの人材の活躍推進

みらいを担う子どもたちへの地元愛の醸成、地元の企業を知る機会の創出

(6) 国際委員会

① 主要国の外交姿勢の変化や各地で続く武力衝突など、地政学・地経学的対立の激化を踏まえ、世界的な不確実性へのリスク感度向上を図るため、識者による講演会を開催し、最新動向の把握に努める

② ポスト万博期において外国人材活用やインバウンドの質的転換が進む中、神戸空港国際化の進展も視野に入れ、兵庫県内での事例研究や企業視察を実施し、国際化に関する理解と考察を深める

③ 産業構造の世界的変化を踏まえ、兵庫県および神戸市の参考となる海外都市を選定し、視察を行うことで、国際感覚の向上と学びの場を提供する

(7) 環境インフラ整備委員会

依然として不透明な国際情勢が続く、今後確実にやってくる人口減少社会への対応が迫られる中、当委員会では、会員の事業活動や社会貢献に資する、エネルギー安全保障、経済成長、低炭素、レジリエンス強化等に関する政策動向、並びに地域や行政、企業

等の取り組み等について調査研究を実施する。

(8) IT 経営委員会

「最新テクノロジーに関する体系的な学びの提供」

AI・量子技術など、テクノロジーは加速度的に進化している。一方で、日本社会では少子高齢化が進み、多くの産業でAI・ロボティクスなどの「デジタルレイバー」の活用が急務となっている。

そのような環境を踏まえ、当委員会では外部の有識者・研究者・実務家を招き、会員向け勉強会を通じて最先端トレンドの理解と実務への応用についての理解を深める。

また、実際に最先端の技術を体感できる施設や先進的に導入している企業などの視察を行い、技術の実装現場を知るとともに、会員同士の交流を深める。

これらの活動を通じて、AIと人の役割分担の未来や企業競争力向上のためのデジタル技術の活用などについての新たな知見や示唆を得る機会を創出する。

「具体的な活動」

講演会・勉強会・視察会をバランスよく実施し、知識としての理解（頭の学び）と体験・交流からの理解（体感の学び）の両面から活動を推進する。

(9) SDGs 推進委員会

SDGsを「制度」ではなく、「人と行動」として捉えなおし、その結果として企業価値や地域価値を高め、well-beingを推進する。

- ① SDGsを活用した神戸経済同友会会員の事例の紹介や視察、自治協議会との懇談など、推進にあたっての課題共有
- ② 中小企業がSDGsを推進するにあたっての課題や問題の解決策等の検討のための行政との対話

(10) スタートアップ委員会

当委員会では引き続き、次世代のアントレプレナーシップの醸成、起業しやすい環境づくり、ならびに会員企業とスタートアップ企業との接点、関与を高める活動を行う。主たる事業として

- ① 会員企業とスタートアップ企業との交流、連携の場づくり
- ② 学生起業家との接点創出による起業挑戦しやすい環境づくり
- ③ アトツギベンチャーなどスタートアップの定義を広げる活動
- ④ 全国の先進的なスタートアップ支援拠点やコンベンションイベントなどの視察等を行い、会員企業とスタートアップ企業とのビジネス連携を促進、投資やメンタリングの機会を増やすことで、兵庫・神戸ならではのスタートアップ・エコシステム構築の一

助を担う。

(11) 交流委員会

会員の交流会、および他団体、各地同友会との交流会・懇親会を通じ、意思の疎通と相互啓発に努める。女性会員がより活躍しやすい環境づくりを行う。

<会員内研修会・懇親会・交流会>

- ・ 定時総会後の交流会（2026年5月29日）
- ・ 会員懇親会（2026年6月16日） ※特別講演会終了後に開催
- ・ 親睦ゴルフ会（2026年10月23日）
- ・ 新入会員懇親会（2027年1～2月頃を予定）
- ・ 神戸経済同友会フォーラム・交流会（2027年2月26日）
- ・ 岡山経済同友会との合同懇談会の対応（2026年12月22日）

80周年記念事業推進委員会

2025年度に策定・承認された実施計画案・特別会計予算に基づき、2026年11月10日に開催する創立80周年記念式典・記念パーティーの開催に向けた準備を着実に進めると共に、当日のスムーズな運営を図る

- ・ スライド「神戸経済同友会の歩み」の作成
- ・ 創立80周年記念式典・記念パーティーの記録作成（PDF形式）

（特別委員会）

(1) 2026年度 提言特別委員会

2026年度活動方針に基づく提言のとりまとめを目指し、委員会を設置する。

(2) 神戸空港国際化推進特別委員会

2025年度の活動内容を踏まえ、以下行事の企画・検討に取り組む。

- ・ 地域部会員を対象とした神戸空港の認知向上に向けた意見交換
- ・ 神戸空港に関係する有識者を集めたシンポジウム
- ・ 近隣県の経済同友会との意見交換会
- ・ 神戸商工会議所 空港委員会との意見交換会
- ・ 神戸空港 PR を目的とした、学生による PV コンテスト

（地域部会）

地域での会員の交流を深め、地域経済の振興策などの検討を行う。

(1) 東播部会

① 会員交流の促進

各委員会や他部会事業への参加を通じ、会員相互の交流とネットワークの強化を図る。

② 部会間・広域連携の推進

各地域部会との交流や、近隣経済同友会との合同例会等への参加を促進する。

③ 地域団体・行政との連携

地域の経済団体や行政機関、東播磨県民局との交流を深め、地域振興に向けた意見交換を行う。

④ 会員相互の交流、情報交換を図り、地域他団体とも活発に交流する。

若手経営者の参加を促進し、次世代を担う人材との交流とネットワークづくりを進める

(2) 西播部会

① 西播磨地域経済人としての資質向上

- ・講演会の開催
- ・域内の魅力を探る研修交流会の開催
- ・会員同士の情報交換の充実

② 会員増強による活性化

③ 県民局との交流を深める。

④ 隣接する岡山・鳥取県経済同友会等への交流事業参加

(3) 阪神間部会

① 各委員会が主催する行事への積極的な参加により、会員各自の見識向上を図る。

② 部会内のみならず、各部会間の親睦と情報交換の充実を図り、経営の改善、地域活動の振興に寄与する。

③ 県民局へのヒアリングや意見交換を行い、活性化に繋げる。

④ 阪神間における賑わいのない商店街の防犯対策と活性化について、検討を始める。

(4) 但馬部会

① 但馬地域の発展に寄与すべく、部会会員同士で知見を持ちより、切磋琢磨しながら交流を深めていく。

② 他地域部会、近隣経済同友会との交流を促進し相互理解を深める。

③ 産・官・学で連携を図り、地域課題解決に向けた取り組みをすすめる。

(5) 丹波北播部会

- ① 部会員同士の交流を促進し、地域経済の活性化を図る
- ② 他地域の会員が丹波・北播地域を訪れる機会を創出し、地域特有の魅力を広く・深く知ってもらう
- ③ 他地域の活動へ積極的に参加し、交流を通じて兵庫経済の更なる発展に寄与する

(中堅会員部会) ※55歳以下の会員対象

部会メンバーを講師として迎え、経営観や人生観、企業の特徴などを講演して頂くことにより、相互理解を深めると共に、新たな価値観の創造につなげることに寄与する。またメンバーの「つながり」を深め、人的ネットワークの拡充を図るために交流会を開催する。

- ・経営塾 「ザ・ルーム」の開催
- ・「つながり」を深める交流会の開催

< 会報等の発行 >

- ① 年6回の会報「神戸経済同友」発行（PDF）に加え、随時、当会の活動に関する資料を基本的にはPDFで配布する。
- ② ホームページに委員会ほか、当会活動と予定を随時更新して掲載する。

2026年度 役員名簿

代表幹事 (2名)

- ※ 高梨柳太郎 (株)神戸新聞社 相談役
- ※ 鳥居 敬 川崎重工業(株) 常務執行役員 コーポレートコミュニケーション・人事・コンプライアンス・総務担当、総務本部長

副代表幹事 (5名)

- ※ 今津由雄 今津建設(株) 代表取締役
- ※ 河野忠友 カワノ(株) 代表取締役社長
- ※ 寺本 督 (株)淡路屋 代表取締役社長
- ※ 武市寿一 (株)みなと銀行 取締役会長
- ※ 木田聖子 (株)チャイルドハート 代表取締役

常務理事 (1名)

- ※ 岩倉是広 (-社)神戸経済同友会 事務局長

会計幹事 (2名)

- 木下勝文 (株)三富商店 取締役社長
- 結城元紀 (株)三井住友銀行 常務執行役員 神戸法人営業本部長

常任幹事 (48名)

- 赤澤秀朗 神栄(株) 代表取締役社長
- 赤鹿竜夫 (株)赤鹿建設 代表取締役
- 家次恒 シスメックス(株) 代表取締役会長 グループ CEO
- 池田浩 三ツ星ベルト(株) 代表取締役社長 社長執行役員
- 伊藤紀美子 田嶋(株) 代表取締役社長
- 井上登志男 (株)読売DC 代表取締役
- 宇尾好博 (株)さわやか 代表取締役社長
- 岡田紹宏 (株)高階 代表取締役社長
- 岡田義則 (株)加古川製作所 取締役会長
- 小野裕美 (株)ドクターミール 代表取締役
- 小原直人 播州建材(株) 代表取締役
- 川松英明 住友ゴム工業(株) 取締役 常務執行役員
- 木谷謙介 (株)シマブンコーポレーション 代表取締役 社長執行役員
- 木東徳幸 三輪運輸工業(株) 代表取締役社長
- 木下和彦 阪神内燃機工業(株) 代表取締役社長
- 木下学 (株)ホテルニューアワジ 代表取締役社長
- 桑畑純也 (株)ベネスト 代表取締役社長
- 坂井幸嗣 (株)アマデラスホールディングス 代表取締役
- 作田誠司 尼崎信用金庫 理事長
- 山東要 大阪ガス(株) 理事 兵庫地区統括支配人

田川 智	(学)高羽幼稚園 理事長 高羽六甲アイランド小学校 校長
瀧川 高章	兵庫トヨタ自動車(株) 代表取締役社長
武市 泰夫	関西電力(株) 理事 兵庫支社長
田中 裕子	(株)夢工房 代表取締役
谷口 享子	(株)オフィスマーメイド 代表取締役
谷口 方啓	TOA(株) 代表取締役社長
種橋 伯子	サンナッツ食品(株) 専務取締役
道満 龍彦	オリバーソース(株) 代表取締役社長
中内 仁	(株)神戸ポートピアホテル 代表取締役社長執行役員
中尾 優	弁理士法人 有古特許事務所 所長
中田 孝一	中田工芸(株) 取締役会長
中山 知巳	日工(株) 代表取締役社長
西村 祐一	神戸土地建物(株) 代表取締役社長
西村 宜子	NTT 西日本(株) 兵庫支店長
野澤 俊也	(株)ノザワ 代表取締役社長
橋本 覚	(株)神戸マツダ 代表取締役社長
日笠 秀樹	日笠工業(株) 代表取締役社長
平田 恭子	西日本旅客鉄道(株) 理事 兵庫支社長
福島 孝一	(株)ソネック 取締役会長
別所 昌樹	日本銀行 神戸支店長
細川 勝伸	(株)カワサキライフコーポレーション 代表取締役社長
松本由美子	(株)フェニックス商会 代表取締役
持丸 秀樹	(株)みなと銀行 代表取締役社長
山本 裕計	(株)エス・ビー・シー 代表取締役
山本 吉大	(公財)大吉財団 理事長
米田 篤史	(株)ジェム 代表取締役社長
和田 剛直	和田興産(株) 代表取締役会長
渡辺 真二	早駒運輸(株) 代表取締役社長

幹 事 (112名)

(神戸地区 89名)

○印 顧問 □印 特別幹事

○ 尾山 基	(一財)神戸観光局 会長
○ 神原 忠明	(株)さくらケーシーエス 顧問
○ 國井 総一郎	兵庫県公立大学法人 理事長
○ 高士 薫	(公社)ひょうご観光本部 理事長
○ 服部 博明	(株)みなと銀行 特別顧問
○ 花岡 正浩	TC 神鋼不動産(株) 顧問役
○ 吉井 満隆	バンドー化学(株) 取締役会長
□ 佐伯 里香	(株)ユーシステム 代表取締役
□ 角南 忠昭	角南商事(株) 取締役会長
□ 永吉 一郎	(株)神戸デジタル・ラボ ファウンダー／シニアアドバイザー
□ 古塚 孝志	(株)ロック・フィールド 代表取締役社長

□ 水垣宏隆	エム・シーシー食品(株) 代表取締役会長
浅木幸三	アサキインターナショナル(株) 代表取締役社長
有本哲也	(株)デジアラホールディングス 代表取締役会長
井植敏彰	塩屋土地(株) 代表取締役社長
石垣聡	(株)ホテルオークラ神戸 代表取締役社長 総支配人
石丸鐵太郎	神戸中央法律事務所 所長
伊東正博	山陽電気鉄道(株) 代表取締役社長
井元憲生	(株)バリュープランニング 代表取締役社長
植野富夫	バンドー化学(株) 代表取締役社長
浦中孝	日本生命保険相互会社 神戸総合法人部 部長
岡澄彦	(株)岡工務店 代表取締役
岡田耕治	日本テクノロジーソリューション(株) 代表取締役社長
岡本篤	三輪運輸工業(株) 執行役員
小川千賀子	(株)デザインクラブ 代表取締役社長
奥井美智子	奥井電機(株) 代表取締役社長
奥村英樹	(株)神鋼環境ソリューション 代表取締役社長
小野秀明	(株)ラジオ関西 代表取締役社長
鍛冶川清司	(株)共進ペーパー&パッケージ 代表取締役会長
嘉納健二	白鶴酒造(株) 代表取締役社長
神尾真裕美	(株)神戸製鋼所 総務・CSR部 担当部長 総務グループ長
河内信哉	川崎重工業(株) 総務本部 総務部長
川村佳子	(株)かわむら ビフテキのカワムラ 代表取締役
河本彰	東京海上日動火災保険(株) 執行役員 兵庫本部長
キランS・セティ	(株)ジュピターインターナショナルコーポレーション 代表取締役社長
金原翼	川崎汽船(株) 関西支店 支店長
小泉康史	小泉製麻(株) 代表取締役社長
小林靖匡	日本郵船(株) 関西支店 支店長
酒井俊	(株)三井住友銀行 公共・金融法人部 部長
坂本眞司	富士通 Japan(株) 取締役副社長 関西支社長
佐々木一	三菱UFJ信託銀行(株) 神戸支店長
笹谷聡	(株)三菱UFJ銀行 執行役員 神戸支店長
篠崎一浩	篠崎倉庫(株) 代表取締役社長
篠田周	(株)日本総合研究所 理事
清水泰人	(株)シミズテック 代表取締役社長
杉崎聡	(株)阪急阪神百貨店 執行役員 神戸阪急店長
鈴木正靖	法律事務所 Lux Linxs 代表パートナー弁護士
須藤明彦	(株)大森廻漕店 代表取締役会長
瀬戸口仁三郎	(株)築港 代表取締役社長
谷村誠	(社福)みかり会 理事長
千布勇氣	楽天ヴィッセル神戸(株) 代表取締役社長
蝶野弘治	蝶野法律事務所 代表弁護士
辻健彦	(株)商工組合中央金庫 神戸支店長
土井正孝	内外ゴム(株) 代表取締役社長
中尾信也	エデュテ(株) 代表取締役

中島洋人	東洋ナッツ食品(株) 代表取締役社長
中土忠	(株)ドンク 代表取締役 CEO
中野剛志	(株)三井住友銀行 総務部 副部長
中村拓郎	サーバー技研(株) 代表取締役社長
中村洋章	第一生命保険(株) 神戸総合支社長
長村直樹	(株)電通西日本 神戸支社 支社長
奈良山貴士	(株)ナラヤマ 代表取締役
南部真知子	(株)SEVENSEAS CRUISER 会長
沼部美由紀	(株)クロシェホールディングス 代表取締役
野々村充教	ウオクニ(株) 代表取締役社長
鮑悦初	(株)廣記商行 取締役会長
橋本達男	(株)みずほ銀行 神戸法人第二部 部長
濱浩一	東光碍子(株) 取締役社長
林良一	(株)ファミリア 常務取締役
平井大介	(株)水登社 代表取締役社長
広瀬努	広瀬化学薬品(株) 取締役会長
廣田康人	(株)アシックス 代表取締役会長 CEO
福居洋美	コガセ工業(株) 代表取締役
福井正一	フジッコ(株) 代表取締役社長 執行役員
藤森宗高	あいおいニッセイ同和損害保険(株) 神戸支店長
星加ルリコ	(株)RURIKO PLANNING 代表取締役
堀井秀紀	三井住友信託銀行(株) 神戸支店・神戸三宮支店 執行役員 支店長
松田幸治	(株)マニックス 代表取締役社長
松原亜希子	(株)大丸松坂屋百貨店 執行役員 大丸神戸店長
三上剛	(株)三井住友フィナンシャルグループ 代表執行役副社長
三木谷研一	楽天ヴィッセル神戸(株) 副会長
三宅宏和	六甲バター(株) 取締役会長
村上豪英	(株)村上工務店 代表取締役社長
森本真弥	森本倉庫(株) 代表取締役社長
両角元寿	(株)MORESCO 代表取締役社長 CEO
安福武之助	(株)神戸酒心館 代表取締役社長
山口信二	モロゾフ(株) 代表取締役社長
山本博史	日清鋼業(株) 代表取締役社長
米本宜司	(株)デンソーテン 代表取締役社長

(東播地区 6名)

□ 丸山恵右	丸山印刷(株) 代表取締役社長
桑田純一郎	但陽信用金庫 理事長
芝本忠雄	(株)SIC 代表取締役
仲上常幸	(株)不動産流通センター 取締役会長
長谷川吉弘	ハリマ化成(株) 代表取締役社長
濱田賢太郎	(株)浜田工務店 代表取締役社長

(西播地区 9 名)

□ 岡田 兼明	大和産業(株) 代表取締役社長
浅井 昌信	ヒガシマル醤油(株) 代表取締役会長
大西 敦	(株)ヤカグループ 代表取締役社長
佐和 吉敬	佐和鍍金工業(株) 代表取締役社長
園田 和彦	兵庫信用金庫 理事長
高谷 秀二	(株)三井住友銀行 姫路法人営業部長
長尾 真	神姫バス(株) 代表取締役社長
中林 康	(株)広築 代表取締役社長
桃井 一光	桃井製網(株) 代表取締役社長

(阪神地区 3 名)

藤嶋 純子	(株)フジ・データ・システム 代表取締役
古野 幸男	古野電気(株) 代表取締役 社長執行役員 兼 CEO
森本 直樹	日本盛(株) 代表取締役会長

(但馬地区 2 名)

倉橋 建	(株)但馬銀行 専務取締役
中川 和久	(株)中川工務店 代表取締役社長

(丹波北播地区 3 名)

大槻 祥三	(株)オオツキ 代表取締役社長
小田 垣昇	(株)小田垣商店 代表取締役社長
竹内 裕児	(株)ソーイング竹内 代表取締役

【2026年5月29日予定】

2026年度活動組織 (敬称略・順不同)

1.代表幹事	高梨柳太郎 (神戸新聞社) 鳥居 敬 (川崎重工業)	
2.副代表幹事	今津由雄 (今津建設) 河野忠友 (カワノ) 寺本 督 (淡路屋) 武市寿一 (みなと銀行) 木田聖子 (チャイルドハート)	
3.常務理事	1名	
4.会計幹事	2名	
5.常任幹事	48名	
6.幹事	112名	
7.委員会	委員長	副委員長
(1)常設委員会		
①総務委員会	高梨柳太郎 (神戸新聞社)	鳥居 敬 (川崎重工業)
②企画委員会	高梨柳太郎 (神戸新聞社)	鳥居 敬 (川崎重工業)
③経済動向委員会	河本 彰 (東京海上日動火災保険)	別所昌樹 (日本銀行) 浦中 孝 (日本生命保険) 小林靖匡 (日本郵船) 佐々木一 (三菱UFJ信託銀行) 梶田明宏 (野村証券)
④しごとづくり委員会	池田 浩 (三ツ星ベルト)	木下勝文 (三富商店) 伊東正博 (山陽電気鉄道) 岡田紹宏 (高階) 蝶野弘治 (蝶野法律事務所) 森 大輔 (NTTドコモ) 瀧川松平 (滝川工業)
⑤まちづくり委員会	西村宜子 (NTT西日本)	今津由雄 (今津建設) 寺本 督 (淡路屋) 山東 要 (大阪ガス) 和田剛直 (和田興産) 三木谷研一 (楽天ヴィッセル神戸) 平田恭子 (西日本旅客鉄道)

⑥ひとづくり委員会	武市寿一 (みなと銀行)	中内 仁 (神戸ポートピアホテル) 小野裕美 (ドクターミール) 山本吉大 (大吉財団) 福居洋美 (コガセ工業) 鈴木正靖 (法律事務所 Lux Linxs)
⑦国際委員会	西村祐一 (神戸土地建物)	山本裕計 (エス・ビー・シー) 笹谷 聡 (三菱 UFJ 銀行) 川村佳子 (かわむら ビフテキのカワムラ) 松本由美子 (フェニックス商会) 平井大介 (水登社) 竹田典高 (まねき食品)
⑧環境インフラ整備委員会	山東 要 (大阪ガス)	武市泰夫 (関西電力) 平田恭子 (西日本旅客鉄道) 藤原大輔 (関西エアポート神戸) 西村公秀 (神戸トヨペット) 西村宜子 (NTT 西日本)
⑨IT経営委員会	瀬川文宏 (コベルコシステム)	和田剛直 (和田興産) 二之湯秀幸 (ベニックスソリューション) 坂本 眞司 (富士通 Japan) 玉置慎一 (神戸デジタル・ラボ)
⑩SDGs推進委員会	木田聖子 (チャイルドハート)	安福武之助 (神戸酒心館) 竹内裕児 (ソーイング竹内) 小川千賀子 (デザインクラブ)
⑪スタートアップ委員会	乾 正博 (シン・エナジー)	武市寿一 (みなと銀行) 有本哲也 (デジアラホールディングス) 沼部美由紀 (クロシェホールディングス) 民輪一博 (K.S.ロジャース) 細野尚孝 (BIG Impact) 井植敏彰 (塩屋土地)
⑫交流委員会 (80周年記念事業推進委員会)	渡辺真二 (早駒運輸)	米田篤史 (ジェム) 和田剛直 (和田興産) 安福武之助 (神戸酒心館) 近藤弘人 (メットライフ生命保険) 松本由美子 (フェニックス商会) 渡邊江美 (マキシン) 坂戸秀彰 (ネットトヨタズナ神戸) 合田和弘 (東洋電気工事)

(2)特別委員会		
2026年度提言特別委員会	川松英明 (住友ゴム工業)	米田篤史 (ジエム) 道満龍彦 (オリバーソース)
神戸空港国際化推進特別委員会	高梨柳太郎 (神戸新聞社)	岡田耕治 (日本テクノロジーソリューション) 〈委員長代行〉 西村祐一 (神戸土地建物)
8.部会	部会長	副部会長
(1)地域部会		
①東播部会	福島孝一 (ソネック)	芝本忠雄 (SIC) 岡田義則 (加古川製作所)
②西播部会	赤鹿竜夫 (赤鹿建設)	大西 敦 (ヤカグループ) 三宅智章 (姫路信用金庫)
③阪神間部会	古野幸男 (古野電気)	藤嶋純子 (フジ・データ・システム) 山村幸治 (日本山村硝子) 馬場公勝 (新井組)
④但馬部会	倉橋 建 (但馬銀行)	中田孝一 (中田工芸) 中川和久 (中川工務店)
⑤丹波北播部会	小澤國秀 (ozawa)	大槻祥三 (オオツキ) 竹内裕児 (ソーイング竹内) 堀 成志 (ブリテック)
(2)中堅会員部会		
経営塾「ザ・ルーム」	松田幸治 (マニックス)	濱田賢太郎 (浜田工務店) 小泉康史 (小泉製麻) 植村一仁 (マック) 倉橋 建 (但馬銀行) 佐井 篤史 (中日輪船商事)

(報告事項)

2. 2026年度 収支予算の件

2026年度 収支予算書

2026年4月1日から2027年3月31日まで

単位：円

	A	B	C	
科目	2026年度予算(a)	2025年度予算(b)	増減(a)-(b)	備考
1 I 事業活動収支の部				
2 1. 事業活動収入				
3 ①入会金収入	1,200,000	900,000	300,000	正会員
4 入会金収入	900,000	600,000	300,000	新規35名 退会20名を見込む
5 交代入会金収入	300,000	300,000	0	目標：2027年3月末時点で600名
6 ②会費収入	56,800,000	56,700,000	100,000	
7 正会員会費収入	46,400,000	46,400,000	0	
8 準会員会費収入	400,000	300,000	100,000	
9 賛助金収入	10,000,000	10,000,000	0	
10 ③負担金収入	20,000,000	15,000,000	5,000,000	
11 負担金収入	20,000,000	15,000,000	5,000,000	
12 ④雑収入	60,000	8,000	52,000	
13 受取利息収入	60,000	8,000	52,000	
14 雑収入	0	0	0	
15 事業活動収入計	78,060,000	72,608,000	5,452,000	
16 2. 事業活動支出				
17 ①事業費支出	63,619,000	54,449,000	9,170,000	2026年度から委員会・部会ごとの
18 給料手当支出	17,000,000	17,000,000	0	個別予算を設定して運営を行う。
19 福利厚生費支出	2,880,000	2,880,000	0	
20 修繕費支出	500,000	510,000	△ 10,000	
21 印刷製本費支出	1,700,000	1,700,000	0	
22 消耗品費支出	400,000	300,000	100,000	
23 旅費交通費支出	3,300,000	3,300,000	0	
24 租税公課支出	0	0	0	
25 通信運搬費支出	700,000	700,000	0	
26 資料費支出	125,000	125,000	0	
27 会議費支出	6,000,000	6,400,000	△ 400,000	
28 事務所費支出	1,560,000	1,560,000	0	
29 リース料支出	1,000,000	900,000	100,000	
30 諸謝金支出	2,400,000	3,500,000	△ 1,100,000	
31 減価償却支出	462,000	462,000	0	
32 負担金支出	19,300,000	14,000,000	5,300,000	
33 委託費支出	402,000	1,102,000	△ 700,000	
34 特別会計事業費	5,880,000	0	5,880,000	詳細は特別会計予算書
35 雑費支出	10,000	10,000	0	
36 ②管理費支出	18,422,000	17,584,000	838,000	
37 給料手当支出	3,000,000	3,000,000	0	
38 福利厚生費支出	320,000	320,000	0	
39 修繕費支出	950,000	950,000	0	
40 印刷製本費支出	1,200,000	1,200,000	0	
41 消耗品費支出	400,000	300,000	100,000	
42 旅費交通費支出	100,000	100,000	0	
43 租税公課支出	70,000	70,000	0	
44 通信運搬費支出	100,000	100,000	0	
45 会議費支出	8,700,000	8,000,000	700,000	
46 事務所費支出	1,560,000	1,560,000	0	
47 リース料支出	250,000	222,000	28,000	
48 諸謝金支出	110,000	200,000	△ 90,000	
49 減価償却支出	462,000	462,000	0	
50 雑費支出	1,200,000	1,100,000	100,000	
51 ③予備費支出	100,000	100,000	0	
52 事業活動支出計	82,141,000	72,133,000	10,008,000	
53 事業活動収支差額	△ 4,081,000	475,000	△ 4,556,000	
54 II 投資活動収支の部				
55 積立預金取崩収入	6,000,000	0	6,000,000	定期預金を6,000千円解約
56 積立預金繰入支出	0	0	0	
57 投資活動収支差額	6,000,000	0	6,000,000	
58 当期収支差額	1,919,000	475,000	1,444,000	

(報告事項)

3. 創立80周年記念事業と特別会計予算の件

創立80周年記念事業 特別会計予算書

単位：円

	科目	予算額	決算額	差引額	備考
1	収入				
2	参加費収入	2,000,000	0	2,000,000	@10,000×200名
3	収入計	2,000,000	0	2,000,000	
4	支出				
5	会場費（式典）	1,300,000	0	1,300,000	
6	会場費（パーティ）	4,300,000	0	4,300,000	
7	アトラクション費用	450,000	0	450,000	スーパースtringス神戸による演奏
8	来賓用お土産代	240,000	0	240,000	58名分×@4,000-
9	司会費用	100,000	0	100,000	
10	講師講演料	390,000	0	390,000	
11	その他費用	200,000	0	200,000	講師交通費・印刷代他
12	スライド・PDF作成	900,000	0	900,000	
13	支出計	7,880,000	0	7,880,000	
14	収支差額	△ 5,880,000	0	△ 5,880,000	

神戸経済同友会 創立80周年記念式典・記念パーティー

日時：2026年11月10日（火） 13時～

場所：神戸ポートピアホテル 大輪田の間

参加者想定数：258名

スケジュール		
記念式典	13:00～15:00	開会挨拶（神戸経済同友会 代表幹事 高梨 柳太郎）
		来賓挨拶（経済同友会 代表幹事 山口 明夫 様）
		来賓挨拶（関西経済同友会 代表幹事 三笠 裕司 様）
		記念講演 講師：日本経済団体連合会 名誉会長 住友化学株式会社 相談役 十倉 雅和 様
会場移動	15:00～15:10	移動 (スーパースtringス神戸によるウェルカムミュージックの演奏あり)
記念 パーティー	15:10～17:00	開会挨拶（神戸経済同友会 次期代表幹事 鳥居 敬）
		来賓挨拶（兵庫県知事 斎藤 元彦 様）
		来賓挨拶（神戸市長 久元 喜造 様）
		来賓挨拶（神戸商工会議所 会頭 川崎 博也 様）
		スーパースtringス神戸による演奏
		閉会挨拶（神戸経済同友会 交流委員長 渡辺 真二）

(注1) 来賓挨拶される方々には、すでに依頼済です。

(注2) 記念講演をされる十倉さまには、ご講演の了解を得ています。

(注3) 本スケジュールは、今後一部を変更する場合があります。